

週替わりで一息！

第2023回例会（第34

版）

今回の二十四節気・七十二候（にじゅうしせつきしちじゅうにこう）

啓蟄(けいちつ) 啓蟄とは、土中で冬ごもりをしていた小さな虫などの生き物たちが陽気や春雨に目覚める頃のこと。生き物たちは久しぶりに感じるさわやかな風と麗らかな春の光の中で生き生きとしています。

末候「三月十六日～二十日」菜虫化蝶(なむしちょうとなる) 9

「青虫が羽化して紋白蝶になる」厳しい冬を越したさなぎが羽化し、美しい蝶へと生まれ変わり、羽ばたく頃。菜虫とは、大根や蕪(かぶ)などアブラナ科の植物を食する昆虫のこと。紋白蝶はその名が表す通り「紋のあるシロチョウ」の意。

春には農作物を守るために“田の神様”が山から里へ下りてきます。収穫が終わる秋には山に戻っていきます。この神様の移動日である三月と十一月の十六日に、十六個の団子を供えることを「十六団子」と言います。

春分（3月21日頃）と秋分（9月23日頃）に最も近い戊（つちのえ）の日を「社日」といいます。春の社日は「春社」、秋の社日は「秋社」とも呼ばれ、土地の神様をまつる日とされています。※次回は春分です。

10年前の主なニュース（2006年3月12日～3月18日）

- ・ 県内3月大雪28年ぶり降雪30センチ。・イオンが坂井町内に新店計画・・・10年経ってもこない！
- ・ 日産が自動追突防止車を開発、十年後の今日バス、トラックには義務化が始まる。福井新聞縮刷版より抜粋、詳細はフリー百科事典Wikipediaより
- ・ 志賀原発2号機営業運転開始するが運転差し止め地裁判決。

「本日3月4日の金曜日」の卓話「坂井郡の夢—三国と福井をつなぐ鉄道」鯖江市文化財調査委員小谷政則氏



新入会員RCバッジの授与

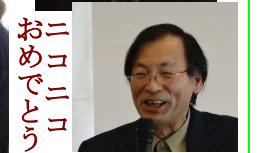


新会員の挨拶



久しぶりの「手に手つないで」

「ロータリーの友」3月号のみどころ



ニコニコおめでとう